

記録がつなぐ 地磁気フォーラム



講師プロフィール



講師 長町 信吾

所属

気象庁地磁気観測所
観測課 主任研究官

地磁気観測歴 19 年のベテラン職員。

2005 年に気象庁へ入庁し、2007 年から地磁気観測所
鹿屋出張所、2009 年から地磁気観測所（柿岡）に勤務
する。

2020 年からは磁気嵐などの地磁気現象カタログ作成の
責任者を務め、地磁気観測所における研究開発では、過
去のアナログ記録のデジタル化、地磁気を活用した火山
活動監視の高度化などを牽引している。



講師 早川 尚志

所属

名古屋大学
宇宙地球環境研究所 助教

太陽活動と地球環境の関わりを研究する研究者。太陽の
大規模な爆発現象によって引き起こされる宇宙天気現象
がどこまでの規模まで発展し得るもので、特に大規模な
ものが電力網や通信網など現代社会にどのような影響を
与えるのかを探究している。古代から近代までの歴史
資料や観測記録を調査し、過去に発生した大規模な太陽
嵐の実態に基づいて数百年、数千年スケールでの太陽嵐
の解明に取り組むとともに、歴史学と自然科学を融合し
た独自の研究を通じて、その発生メカニズムや社会への
影響の解明を進めている。



スケジュール概要



前半のお話

『記録をつなぐ“世界の KAKIOKA”』

講師 長町 信吾



概要：100 年以上に及ぶ日本の地磁気観測の歴史、そ
の中心を担ってきたのが柿岡にある地磁気観測所です。
その歴史の長ささとデータの質の高さから世界最高の地
磁気観測所のひとつとして知られています。その "世
界の KAKIOKA" の歴史とお仕事の一端をご紹介します。



後半のお話

『歴史文献から地磁気嵐の極限状態へ』

講師 早川 尚志



概要：歴史史料から読み解かれるオーロラは、過去に発
生した巨大太陽嵐を知るための貴重な手がかりとなりま
す。茨城県内に伝わる史料も交えながら、歴史の記録と
現代の地磁気観測を通じ、激甚な宇宙天気現象の姿をわ
かりやすくご紹介します。

※午前の部、午後の部共に、講演内容は同じです。

お申込み・特設ページ

参加方法：右の QR コードまたは下記の URL からお申込ください。

申込開始：9 月 7 日（月）10 時

定員：午前と午後 先着 60 名ずつ
（申込み多数の場合、早めに締め切ることがあります）

[https://www.kakioka-jma.go.jp/
pr/forum2026.html](https://www.kakioka-jma.go.jp/pr/forum2026.html)



お問い合わせ



気象庁地磁気観測所
TEL(0299)-43-1151

受付時間：平日 9：00～17：00
〒315-0116 茨城県石岡市柿岡 595

